

自衛隊記念日レセプション

梅田大使挨拶

2015年7月1日

本日のここに、大統領府安全保障室長官エリート陸軍大将、国防省統合参謀本務戦略局次長マチアス海軍中将、外務省防衛部長バエナ・ソアレス公使をはじめ、多くの方にご参加頂き、また、日本から外菌健一郎元航空幕僚長にご参加頂き、自衛隊創設記念日を祝賀できることを大変嬉しく思います。皆様に心から感謝申し上げます。

我が国では防衛駐在官を配置している大使館において、7月1日に自衛隊創設記念日レセプションを開催しております。昨年、防衛駐在官の配置を得た当館にとって、このレセプションは第1回目となります。

日伯外交関係樹立120周年の節目の年に、これを主催できることを、大使として大変喜ばしく思います。

ブラジルと我が国は、民主主義、法の支配といった基本的な価値観を共有する伝統的な友好国です。ブラジルには190万の日系社会が存在し、日本には19万人のブラジル人が生活しており、人的にも深い絆を有しております。また、ブラジルは極めて親日的ですが、日本人の多くもブラジルに好意を有しています。

昨年8月には、安倍総理が訪伯し、ルセーフ大統領との間で、防衛分野においても積極的な交流を進めていくことで合意しました。両国の絆を防衛分野にも敷衍し、良好な関係を更に発展させ、ともに歩んでいきたいと考えております。

なお、本日はNEC、東芝、TOYOTA、YAMAHA及びSunsuyの協力を得て、様々な展示を行っております。是非ご覧ください。

最後に、皆様に心からお礼を申し上げますとともに、皆様のご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございます。